旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２１年１１月２１日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	聖歌497「輝く日を仰ぐとき」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	聖歌427「罪重荷を除くは」	一　同
教会学校	紙芝居「聖書の言葉で勝つ」	牧　師
讃　　美	聖歌396「十字架のかげに」	一　同
聖書朗読	黙示録17：11-14	
奨　　励	黙示録の福音(第23回)	牧　師
主　　題	**「荒野で見た命の道」**	
讃　　美	聖歌614「主の愛の汝が内に」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	聖歌378「栄あれや」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	ネヘミヤ記第６章	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
11/21（日）聖日礼拝
/22（月）
/23（火）（勤労感謝の日）
/24（水）9-12:OBSｸﾗｽ
/25（木）10:聖研13:ｳﾞｨﾚｯｼﾞ集会
/26（金）
/27（土）13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「聞くという奉仕」

ボンヘッファー著「共に生きる生活」(新教出版社)p.95

交わりの中で、ひとりが他の人に対して負っている第一の奉仕は、《他の人の言葉に耳を傾ける》ということである。神への愛は、我々が神の言葉を聞くことから始まるように、兄弟への愛の始まりは、我々が兄弟の言葉を聞くことを学ぶことである。神が我々に、ただそのみ言葉を与えて下さるだけでなく、我々にその耳を貸して下さるのは、我々に対する神の愛である。だから、我々が、兄弟に聞くことを学ぶ時、我々が兄弟に対してなすことは、神のわざである。キリスト者、特に説教者は、他の人たちと共にいる時に、常に何かを「提供し」なければならない、そしてそれが彼らの唯一の奉仕である、と考えがちである。彼らは、《語ることよりも、聞くことの方が、より大きな奉仕でありうる》ということを忘れているのである。多くの人たちが、聞いてくれる耳を求めている。そして彼らは、その耳をキリスト者の中に見出さない。なぜなら、キリスト者は、聞いて上げなければならないところでも、自分で語ってしまうからである。しかし、もはやその兄弟に聞こうとしない者は、やがてまた神にも聞かなくなり、神のみ前においても、いつもただ語るだけの人になってしまうであろう。ここに霊的生活の死が始まり、遂には、敬虔な言葉に窒息させられた霊的なおしゃべり、坊主くさい低い物腰だけが残るのである。…聞くことの浪費には、自分の時間はあまりにも貴重であると考える人は、実際には、神と兄弟のためにではなく、いつもただ自分自身のため、自分の言葉と計画のための時間をしか持たない人であろう。

…そしてここでも、《我々の兄弟に対する態度は、我々の神に対する態度の反映である》ということは確かである。もし我々が、小さな事柄において、兄弟に我々の耳を貸すことを拒むなら、神が我々に委託し給うた《聞く》という最も大きな奉仕、すなわち、兄弟の告解（罪の告白）を聞くということが、もはやできなくなることは不思議ではない。…我々が神の言葉を語ることができるためには、我々は神の耳をもって聞かなければならないのである。